報告第15号

一般財団法人西海市農業振興公社令和７事業年度事業計画及び予算並びに令和６事業年度決算報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の３第２項の規定に基づき、一般財団法人西海市農業振興公社令和７事業年度事業計画及び予算並びに令和６事業年度決算について、次のとおり報告する。

令和７年９月５日

西海市長　瀬川　光之

令和７年度事業計画書

Ⅰ・事業の基本方針

わが国の農業は気候変動やそれに伴う自然災害、農業従事者の減少や高齢化等による生産基盤の脆弱化など厳しい状況に直面している。

また、ロシアにおけるウクライナ侵攻による飼料・肥料・燃油等の農業資材の国際価格高騰や円安の進行もあいまって、農業経営や畜産経営に大きな影響を及ぼしている。

このような農業を取り巻く環境の中で、農業生産向上にむけて経営規模の拡大や農地の集積・集約を進めるとともに、意欲のある農業者が安定的・継続的に農業に取り組むことができるよう西海市農業振興公社は事業の柱でもある農地中間管理事業の推進を加速させ、優良農地の集積・集約を更に進めながら生産基盤の強化や農業所得の増大を後押ししていきたい。

このほかに、農業をリタイヤされる農家や規模縮小を計画している農家への対応も併せて行うため、耕作を断念した農地が荒廃する前に、次の担い手にスムーズに貸付が出来るよう地元の農業委員や農地最適化推進委員の方々と更に連携を図っていきたい。

また、農作業の労力軽減措置として取り組んでいる「農作業支援事業」の一環である「稲刈り受託作業」については、令和５年度から籾乾燥機の増設により、コンバインと籾乾燥の作業効率が大幅に向上し、受託作業の拡大に繋がった。今年度も積極的に事業のＰＲ活動を行い、受託件数を伸ばしていきたい。

このような農業所得の向上や農家の労力支援対策事業とあわせて、新たな特産品として注目されている西海市が栽培普及を行っているアボカドやオリーブについても、今後も各生産グループと連携し、栽培者の拡大と生産技術の確立に努めるなど取り組みを継続して行っていきたい。

昨年度、好評であった６次産業化の推進については、市内の農産加工グループの活性化支援と併せて県立西彼農業高等学校との共同研究事業を継続し、地元農産物を使用した加工品の開発（ＳＤＧｓ）に取り組んでいきたい。

Ⅱ・事業内容

１　農地中間管理事業

農地中間管理事業とは「農地を貸したい人」と「農地を借りて農業をしたい人」を結びつける公的制度である。

長崎県農業振興公社（農地中間管理機構）から業務委託を受け、事業を開始して 12 年目を迎える。近年では農業者にも広く認知され、農地の貸借相談も多く寄せられている。

現在、各地域で実施及び計画中の基盤整備事業においても重要な役割を担う事業であり、基盤整備事業実施エリア内の農地を担い手に集積・集約を行う事で工事費の地元負担を大きく軽減することができる。今後も各地域の基盤整備推進委員会等に参画し、事業活用を促して行きたい。

また、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地の利用を明確化する『地域計画』を令和６年度に策定。効率的かつ安定的な農業経営を営む者に対する農用地利用の集積、農用地の集団化、その他の地域計画の区域における農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため、策定後の今年度は地域計画の実現に向けた取り組みについて関係機関と連携し、事業推進を行う。

※令和７年度の農地集積目標：３５ｈａ

地域計画協議の場・大串小地区
（令和６年５月７日）

地域計画協議の場・西海東小地区
（令和６年５月 27 日）

２　農地管理事業

平成 22 年度より農地利用集積円滑化団体として指定を受け、農地利用集積円滑化事業を活用し、地権者と担い手の間に西海市農業振興公社が入り、農地の貸借を推進してきた。

平成 26 年度から農地中間管理事業が開始され、西海市農業振興公社が行う農地の貸借は農地中間管理事業に一本化された。

今後は最長で令和９年度で契約期限を迎える農地利用集積円滑化事業で貸借した農地を随時農地中間管理事業へ切り替えていく。

また、西海市から借り受けた圃場に植栽している原口早生についても引き続き管理を行い、地元の小学生に社会科の課外授業の場として提供し、収穫体験を通じて地元の特産品に親しみを持ってもらえる機会を増やしていく。

この圃場で収穫したみかんについては、西海市主催のイベント等で販売を行い西海市農業振興公社のＰＲに努めたい。

西海市西海東小学校 ３年１組みかん収穫体験（令和６年 11 月 ６日）

「ぎゅぎゅっと！西海フェス 2024」出店 みかん詰め放題（令和６年 11 月 10 日）

３ 農作業支援事業

令和２年の農林業センサスによると西海市の基幹的農業従事者は 1,185 人、そのうちの 30％（350 人）が 65 歳未満であり、センサス当時よりも更に高齢化は進んでいると思われる。

このような状況下において、後継者不足が課題の一つであることから、農家の労力負担軽減の一助を担う目的で農作業支援事業にも取り組んでいる。

令和６年度は稲刈り作業受託の計画目標 1,300ａに対し実績が 1,340ａとなり、計画を上回る取り組みとなった。

また、籾乾燥機を１台増設したことに伴い、１日３件の作業依頼に対応が可能となり、大幅な作業の効率化を図ることが出来た。

今後も農家の高齢化は更に進み、稲刈り作業やその後の籾の乾燥作業の依頼が多くなることが予想されるため、現在、保有しているコンバインと籾乾燥機の能力を最大限に発揮し、農家の要望に応えていきたい。

また、稲刈り後、籾をＪＡライスセンターに搬入を希望される農家も増えてきた。公社の稲刈り作業とＪＡのライスセンター利用を併用することにより、稲刈りから出荷まで一貫して行う事で、農家の大幅な労力軽減が図られることからＪＡライスセンターと連携を取りながら事業を推進したい。

農作業支援事業のＰＲについては、「西海市地域農業再生協議会」の事務局の協力のもと、水稲共済細目書の送付時に農作業支援事業のチラシを同封し、市内の水稲農家へ周知を行った。今後もチラシの配布等による広報活動を継続して行いながら、利用者を増やしていきたい。

また、田植えや堆肥散布の受託作業については、依然として利用者が少ないので、今後も更に周知を行い、市内の農業者の利用を促進したい。

※令和７年度受託目標面積　稲刈り作業：1,350ａ・田植え作業受託：250ａ

田植え作業

稲刈り作業

４　６次産業化推進事業

新型コロナウイルスの感染拡大もおさまり、行動制限も解かれ、様々なイベントが再開されるようになってきた。

令和７年２月に開催されたＪＡ祭には、西海市農業公社が中心となり組織した６次産業化推進チーム「６（シックス）プロジェクト」のメンバーでもある加工グループの方々に出店していただき、加工品の販売やＰＲを行った。

今後も農産加工グループの活動を更に盛り上げるとともに、長崎県の「農・食連携ネットワーク」とも連携し、新たな加工品の開発や既存の商品のブラッシュアップ等の支援を行っていきたい。

また、県立西彼農業高等学校の食品加工部の生徒の方々と共に規格外かぼちゃを活用した地元名物の渦潮に見立てた菓子『かぼちゃのバウムクーヘン』の開発にも取り組んでおり、今後は、商品化に向け企業との共同製造を検討していく。

今後も西海市の農産物を原料とした持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）商品の共同開発について、継続した取り組みを行い、発想力豊かな若者のアイデアが詰まった新たな商品の開発を後押ししていきたい。

農産加工グループ　ＪＡ祭への出店
（令和７年２月１・２日）

西彼農業高校（食品加工部）
かぼちゃのバウムクーヘン発表会
（令和７年２月 25 日）

令 和 7 年 度 当 初 予 算 書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで　　(単位:円)

科　　目	令和7年度（a）	令和6年度（b）	差 引 (a-b)	備　　考
Ⅰ　収入の部				
1. **補助金等収入**	**15,091,000**	**14,863,000**	228,000	
(1) 一般管理費	**15,091,000**	**14,863,000**	228,000	
補助金	15,041,000	14,813,000	228,000	市補助金
雑収入	45,000	45,000	0	冷蔵庫及び冷凍庫使用料他
預金利息	5,000	5,000	0	
2. **事業収入**	**13,123,000**	**11,588,000**	1,535,000	
(1) 農地管理事業	**1,584,000**	**1,593,000**	-9,000	
補助金	944,000	1,033,000	-89,000	市補助金
農地貸付料	630,000	550,000	80,000	約7戸分　15ha他
販売収入	10,000	10,000	0	みかん販売
(2) 農作業支援事業	**4,300,000**	**3,000,000**	1,300,000	
補助金	0	0	0	市補助金
受託収入	4,300,000	3,000,000	1,300,000	農作業受託収入
(3) 6次産業化推進事業	**330,000**	**626,000**	-296,000	
補助金	280,000	576,000	-296,000	市補助金
販売収入	50,000	50,000	0	アイス・ペースト販売他
(4) 農地中間管理事業	**6,909,000**	**6,369,000**	540,000	
委託料	6,909,000	6,369,000	540,000	県より受託事業
3. **基本財産運用収入**	**6,000**	**6,000**	0	
預金利息	6,000	6,000	0	定期預金
当期収入合計	28,220,000	26,457,000	1,763,000	

令和7年度市補助金	16,265,000
令和6年度市補助金	16,422,000
増減	-157,000

科　　目	令和7年度（ａ）	令和6年度（ｂ）	差　引（a-b）	備　　考
Ⅱ　支出の部				
1．**一般管理費**	**15,091,000**	**14,863,000**	228,000	市補助　15,041,000
役員報酬	1,920,000	1,920,000	0	理事長１名
給与	8,019,000	7,453,000	566,000	事務局長給与及び賞与20%＋職員2名分+中間嘱託50%
通勤手当	360,000	465,000	-105,000	理事長+職員2名分
福利厚生費	1,775,000	1,702,000	73,000	事務局長給与20%及び賞与＋職員2名分+嘱託50%、労働保険料
旅費交通費	81,000	81,000	0	理事会、評議員会費用弁償
需用費	831,000	831,000	0	光熱水費・燃料費・公社周辺建物修繕費10万他
役務費	255,000	258,000	-3,000	振込手数料、電話代他
委託料	526,000	526,000	0	PC保守料、会計士システム保守 PC設定料（Windowsサポート終了による）
使用料及び賃借料	743,000	774,000	-31,000	コピー機、車両リース、PCリース
負担金	4,000	4,000	0	社会保険協会費
公課費	71,000	391,000	-320,000	法人市民税・県民税
退職者共済掛金	456,000	408,000	48,000	職員3名分
交際費	50,000	50,000	0	公社単独
2．**事業費**	**13,123,000**	**11,588,000**	1,535,000	
(1) 農地管理事業	**1,584,000**	**1,593,000**	-9,000	市補助　944,000
賃金	78,000	288,000	-210,000	柑橘園作業員
福利厚生費	5,000	5,000	0	労働保険
旅費	0	3,000	-3,000	
需用費	329,000	361,000	-32,000	燃料費・光熱水費・消耗品費
役務費	169,000	186,000	-17,000	利用契約に係る郵便料及び振込手数料、共済費他
使用料及び賃借料	630,000	550,000	80,000	農地賃借料
委託料	218,000	35,000	183,000	保全管理費
負担金	150,000	150,000	0	水土里ネット
公課費	5,000	15,000	-10,000	自動車税
(2) 農作業支援事業	**4,300,000**	**3,000,000**	1,300,000	市補助　0
賃金	1,935,000	1,350,000	585,000	オペレーター賃金
福利厚生費	30,000	68,000	-38,000	労働保険
需用費	1,986,000	1,319,000	667,000	燃料代、修繕費他
役務費	173,000	128,000	45,000	自動車保険、振込手数料
使用料及び賃借料	100,000	60,000	40,000	フォークリフトレンタル
公課費	76,000	75,000	1,000	車検時重量税・印紙税
機械購入費	4,000,000		4,000,000	コンバイン3条刈　公社単独
(3) 6次産業化推進事業	**330,000**	**626,000**	-296,000	市補助　280,000
賃金	12,000	12,000	0	バス運転手等
旅費	14,000	14,000	0	旅費
需用費	12,000	12,000	0	消耗品等
役務費	20,000	80,000	-60,000	振込手数料等
委託料	250,000	436,000	-186,000	6ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ委託、西彼農業高校委託
使用料及び賃借料	20,000	20,000	0	出張時通行料及び駐車料金、マイクロバス使用料
原材料費	0	50,000	-50,000	原料購入
負担金	2,000	2,000	0	食品衛生協会、責任者講習会会費
(4) 農地中間管理事業	**6,909,000**	**6,369,000**	540,000	県公社より受託
3．**予備費**	**6,000**	**6,000**	0	
当期支出合計	28,220,000	26,457,000	1,763,000	

令和６年度事業報告書

Ⅰ・【事業実績総括】

令和２年度の農林業センサスによると西海市の基幹的農業従事者は1,185人、その内の30%が65歳未満であり、現在は更に高齢化が進んでいると推測され後継者不足が叫ばれている。耕作放棄地の増加による有害鳥獣被害の拡大など農業を取り巻く環境は厳しい状況に直面している。

また、一方では世界的な穀物需要の増加やエネルギー需要の増加、ロシアによるウクライナ侵略によっての飼料・肥料・燃油等の農業資材の国際価格高騰、円安の進行も相まって、農業経営や畜産経営に大きな影響を及ぼしている。

その様な状況の中で、西海市農業振興公社としては事業の柱である「農地中間管理事業」を活用し意欲のある農業者の経営規模拡大や農地の集積を後押しすることで、産地の維持拡大に資する取り組みを行った。

現在進行中の基盤整備事業については、西彼町白崎地区・小迎地区は順調に事業完了を目指し工事も進み西海町面高地区は令和 6 年度に本工事を着工し、太田和地区は事業が採択され令和 8 年度以降に工事着工予定、天久保地区は令和 7 年度事業採択を目指し、担い手の方々や関係機関と定期的に推進委員会等を行ってきた。
今後も地元農業者等と連携をして新たな産地形成に向けて取り組みを行っていきたい。また、地域の話し合いにより将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を策定・実行していく為には農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化で農地利用の最適化を進めることが重要となる。

農林緑推進課や農業委員会・西海事務所等の関係機関と協議を重ねると共に、地域の話し合いの場へも足を運び「地域計画」の策定、早期の実行に向けての取り組みを行った。

高齢化する農業者の労力支援策として取り組んでいる「農作業支援事業」での稲刈り作業においては年々利用者が増加し令和 6 年度は前年対比 114%の 1340a の稲刈受託を伸ばすことが出来た。

6次産業化推進事業において、県立西彼農業高等学校の食品加工部の生徒方々と共に取り組んでいる規格外カボチャを活用した菓子『かぼちゃのバウムクーヘン』を開発した

今後も西海市農業振興公社が行う様々な事業を広く市民の方々に周知を行い、更なる利用拡大を促して行きたい。

Ⅱ・【事業内容】

１．農地中間管理事業

事業開始から 11 年が経過し農業者にも広く認知され農地の貸借の相談も多く寄せられている。現在市内で実施及び計画中の基盤整備事業においても重要な役割を担う事業である。令和６年度は西海町の太田和地区並びに天久保地区で地元の推進委員や関係機関と協力し基盤整備事業における中間管理事業の推進を行い農地の集積を行った。また、それにより地域集積協力金の交付を受ける事で基盤整備事業での地元負担軽減に協力する事が出来た。

また、地域計画においては協議の場へ参画し地元農業者と 10 年後の農地利用について地域で話し合う事で目標地図を作成し令和６年度末に策定された。

－農地中間管理事業実績表－

年　度	集積筆数	集積面積	集積農家	配分農家
令和６年度	５５３筆	５５．９ha	１６２戸	３４戸
令和５年度	２８８筆	３６．４ha	７８戸	６６戸
令和４年度	２８３筆	３３．４ha	１２９戸	６４戸
令和３年度	１４４筆	２１．５ha	９３戸	１２１戸
令和２年度	１６９筆	２２．７ha	８５戸	５０戸
令和元年度	１６７筆	２５．７ha	８８戸	６３戸
平成 30 年度	７５４筆	８２．２ha	１７４戸	８７戸
平成 29 年度	５１２筆	７３．６ha	２１８戸	１２１戸
平成 28 年度	５７０筆	８１．９ha	１２２戸	７０戸
平成 27 年度	３７２筆	３６．３ha	１０６戸	３２戸
平成 26 年度	１００筆	１５．４ha	３３戸	１６戸
累　計	３，９１２筆	４８５．０ha	１，２８８戸	７２４戸

地域計画協議の場・大串小地区
（令和６年５月７日）

地域計画協議の場・西海東小地区
（令和６年５月 27 日）

２．農地管理事業

平成 22 年度より農地利用集積円滑化団体の指定を受け農地利用集積円滑化事業を行ってきたが、令和２年からは農地中間管理事業へ一本化された事により農地利用集積円滑化事業での新たな貸借はない。しかし大島地区においては農地利用集積円滑化事業での利用権設定が継続中の農地も未だある。今年度はそれらを中間管理事業へ切り替える準備期間として地権者が亡くなっていて相続が完了していない未相続農地の調査や受け手の耕作状況の確認、今後の意向の聞き取り等を行った。次年度はこの調査を元に中間管理事業へ移行をすすめていく予定である。

また、公社が管理を行っているみかん園においては西海市立西海東小学校の３年１組の生徒 26 名を対象にみかん作りについて２つの体験型学習を行った。摘果体験と毎年実施している収穫体験である。西海市の基幹産業であるみかんの栽培に触れてもらういい機会になった。収穫体験後に残ったみかんは西海市主催のイベント「ぎゅぎゅっと！西海フェス 2024」で販売を行い西海市農業振興公社の PR も行った。

農地管理状況内訳表　　令和 7 年 3 月 31 日現在（㎡）

町名	借受農地		貸出農地		未貸出農地	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
西彼町	0	0	0	0	0	0
西海町	5	9,759	5	9,759	0	0
大瀬戸町	0	0	0	0	0	0
大島町	229	121,663	176	95,836	53	25,827
合計	234	131,422	181	105,595	53	25,827

西海市立西海東小学校３年１組
（みかん収穫体験）

「ぎゅぎゅっと！西海フェス」
（みかん詰め放題）

３．農作業支援事業

繁忙期における農作業の支援対策として、堆肥散布・田植え・稲刈作業・籾乾燥の受託作業を行った。

令和 6 年度は稲刈作業目標面積の 1,300ａに対し 1,340ａ、籾乾燥作業目標 1,850 袋に対し 1,997 袋と作業依頼の増加により計画を上回ることが出来た。

大まかな内訳としては新規の作業依頼が 282ａ（14 件）と天候不順により掛け干し米が乾燥不足で新規の籾乾燥のみ 407 袋（11 件）と増加した。

また、令和 5 年度から籾乾燥機を 1 基増設し 3 基体制で事業を行う事で大幅に作業効率が向上し、依頼農家の要望に応えることが出来た。

事業のＰＲについても「西海市地域農業再生協議会」の事務局の協力のもと水稲共済細目書の送付時に農作業支援事業のチラシを同封してもらい、市内の水稲農家へ周知を行ったが、田植え作業の依頼は目標の 200ａに対して 133ａと伸び悩んだ。

今後も事業のＰＲチラシの配布は継続して行い当事業の利用拡大を目指す。

項目 ＼ 年度	受委託作業名			
	田植 面積	稲刈面積	乾燥籾数量 （依頼件数）	堆肥 散布
令和 6 年度	133ａ	1,340ａ（58 件） 内ＲＣ持込 478ａ（16 件）	1,997 袋（55 件） 内籾乾燥のみ 609 袋（14 件）	26ｔ
令和 5 年度	106ａ	1,174ａ（52 件） 内ＲＣ持込 468ａ（15 件）	1,477 袋（43 件） 内籾乾燥のみ 195 袋（６件）	40ｔ
令和 4 年度	128ａ	1,106ａ（51 件） 内 RC 持込 400ａ（14 件）	1,449 袋（43 件） 内籾乾燥のみ 218 袋（５件）	27ｔ
令和 3 年度	75ａ	919ａ（44 件） 内 RC 持込 264ａ（10 件）	1,369 袋（38 件） 内籾乾燥のみ 97 袋（２件）	21ｔ
令和 2 年度		646ａ（30 件）	1,110 袋（30 件）	14ｔ
令和元年度		505ａ（24 件）	1,030 袋（27 件）	112ｔ
平成 30 年度		277ａ（13 件）	455 袋（13 件）	164ｔ
平成 29 年度		56ａ（４件）	４件（６回）	106ｔ
平成 28 年度		55ａ（４件）	４件（７回）	98ｔ

田植作業

稲刈作業

５．６次産業化推進事業

長崎県立西彼農業高等学校の食品加工部の生徒達と共に取り組んでいる西海市の農産物を原料にした新商品開発事業については、昨年に引き続き「かぼちゃのバウムクーヘン」の試作を重ね、JA 長崎せいひのグリーンセンターや長崎バイオパークに協力して頂き試食会を行った。試食後はアンケートを行い更なる改良により『高校生食の SDGs アクショングランプリ』では審査員特別賞を獲得しました。また、２月に商品発表会を行いメディア等に向けてＰＲを行う事で今後の製造・販売へ取り組みたい。

６プロジェクトのメンバーによる JA 祭での出店は、天気が悪いなかでも来場して下さる方へ加工所の商品の魅力をＰＲ出来た。

農産加工グループ　ＪＡ祭への出店
（令和７年２月１・２日）

西彼農業高校（食品加工部）
かぼちゃのバウムクーヘン発表会

令和6年度収支決算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

Ⅰ. 収入の部　　（単位：円）

科目	（b）決算額	法人会計	農地管理事業	農作業支援事業	6次産業化推進事業	農地中間管理事業	備考
1. 事業収入　（1）＋（2）	10,528,876	30,913	485,968	3,603,207	59,852	6,348,936	
（1）受託収入	10,376,011	0	459,868	3,567,207	0	6,348,936	
農作業受託収入	3,567,207			3,567,207			
農地貸付収入	459,868		459,868				
委託料	0						
農地中間受託収入	6,348,936					6,348,936	
（2）雑収入	152,865	30,913	26,100	36,000	59,852	0	
預金利息	5,735	5,735					
販売収入	76,300		26,100		50,200		
雑収入	70,830	25,178	0	36,000	9,652		
2. 補助金収入	12,226,686	11,326,548	673,822	0	226,316	0	
公社運営補助金収入	12,226,686	11,326,548	673,822	0	226,316		
3. 基本財産運用収入	340	340					
（A）当期収入合計	22,755,902	11,357,801	1,159,790	3,603,207	286,168	6,348,936	
前期繰越収支差額	5,163,863	2,044,740	558,774	2,560,349	0		
（B）収入合計	27,919,765	13,402,541	1,718,564	6,163,556	286,168	6,348,936	

Ⅱ. 支出の部

科目	（b）決算額	法人会計	農地管理事業	農作業支援事業	6次産業化推進事業	農地中間管理事業	備考
1. 一般管理費	11,341,548	11,341,548	0	0	0	0	需用費　内訳
報酬	1,920,000	1,920,000					消耗品　356,158
給与	5,127,040	5,127,040					燃料費　39,232
賃金	0	0					光熱水費　266,094
通勤手当	250,400	250,400					修繕費　0
福利厚生	1,260,026	1,260,026					印刷費　0
旅費	44,000	44,000					食糧費　5,560
需用費	667,044	667,044					需用費計　667,044
役務費	175,494	175,494					
委託料	495,910	495,910					
使用料及び賃借料	742,312	742,312					
負担金	4,000	4,000					
公課費	376,322	376,322					
退職者共済掛金	264,000	264,000					
交際費	15,000	15,000					
2. 事業費	10,782,557	0	1,159,790	2,987,663	286,168	6,348,936	
（1）農地管理事業	1,159,790	0	1,159,790	0	0	0	需用費　内訳
賃金	37,530		37,530				消耗品　93,387
福利厚生費	254		254				燃料費　125,422
旅費	0		0				光熱水費　26,820
需用費	334,278		334,278				修繕費　88,649
役務費	129,128		129,128				需用費計　334,278
使用料及び賃借料	411,073		411,073				
委託料	54,119		54,119				
負担金	146,300		146,300				
公課費	47,108		47,108				
（2）農作業支援事業	2,987,663	0	0	2,987,663	0	0	需用費　内訳
賃金	1,348,101			1,348,101			消耗品　16,791
福利厚生費	5,700			5,700			燃料費　306,723
需用費	1,286,487			1,286,487			光熱水費　32,431
役務費	141,708			141,708			修繕費　930,542
農機修繕費	0			0			需用費計　1,286,487
公課費	139,667			139,667			
使用料及び賃借料支出	66,000			66,000			
（3）6次産業化推進事業	286,168	0	0	0	286,168	0	需用費　内訳
賃金	0				0		消耗品　13,860
旅費	1,100				1,100		燃料費　0
需用費	53,460				53,460		光熱水費　0
役務費	20,447				20,447		修繕費　39,600
使用料及び賃借料	0				0		需用費計　53,460
委託費	200,000				200,000		
原材料費	0				0		
負担金	0				0		
福利厚生費	58				58		
公課費	11,103				11,103		
（4）農地中間管理事業	6,348,936	0	0	0	0	6,348,936	需用費　内訳
給料	4,044,255					4,044,255	消耗品　164,213
福利厚生費	768,159					768,159	燃料費　69,649
旅費交通費	9,900					9,900	修繕費
需用費	233,862					233,862	需用費計　233,862
役務費	309,540					309,540	
使用料及び賃借料	638,820					638,820	
通勤手当	344,400					344,400	
3. 予備費	0	0	0	0	0	0	
（C）　当期支出合計	22,124,105	11,341,548	1,159,790	2,987,663	286,168	6,348,936	
（A-C）当期収支差額	631,797	16,253	0	615,544	0	0	
（B-C）次期収支差額	5,795,660	2,060,993	558,774	3,175,893	0	0	

正味財産増減計算書

令和6年 4月 1日から令和7年 3月31日まで

（単位：円）

科目	非収益事業	収益事業	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託収入	**0**	**10,376,011**	**10,376,011**
農作業受託料	0	3,567,207	3,567,207
農地貸付料	0	459,868	459,868
委託料	0	6,348,936	6,348,936
雑収入	**30,913**	**86,952**	**117,865**
預金利息	5,735	0	5,735
販売収入	0	76,300	76,300
雑収入	25,178	10,652	35,830
補助金収入	**11,326,548**	**900,138**	**12,226,686**
公社運営補助金収入	11,326,548	900,138	12,226,686
基本財産運用収入	**340**	**0**	**340**
基本財産運用収入	340	0	340
経常収益計	**11,357,801**	**11,363,101**	**22,720,902**
(2) 経常費用			
事業費	**0**	**16,812,460**	**16,812,460**
役員報酬	0	1,536,000	1,536,000
給料	0	6,465,326	6,465,326
賃金	0	1,385,631	1,385,631
福利厚生費	0	1,364,387	1,364,387
旅費交通費	0	11,000	11,000
需用費	0	1,908,087	1,908,087
役務費	0	600,823	600,823
使用料及び賃借料	0	1,115,893	1,115,893
委託費	0	254,119	254,119
公課費	0	197,878	197,878
負担金	0	146,300	146,300
通勤手当	0	498,457	498,457
減価償却費	0	1,328,559	1,328,559
管理費	**6,716,697**		**6,716,697**
役員報酬	384,000		384,000
給料	2,705,769		2,705,769
福利厚生費	635,493		635,493
旅費交通費	44,000		44,000
需用費	667,044		667,044
役務費	175,494		175,494
使用料及び賃借料	742,312		742,312
委託料	495,910		495,910
交際費	15,000		15,000
負担金	4,000		4,000
公課費	376,322		376,322
通勤手当	130,860		130,860
退職者共済掛金	264,000		264,000
減価償却費	76,493		76,493
経常費用計	**6,716,697**	**16,812,460**	**23,529,157**
評価損益等調整前当期経常増減額	**4,641,104**	**△ 5,449,359**	**△ 808,255**
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	**4,641,104**	**△ 5,449,359**	**△ 808,255**
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益	**0**	**35,000**	**35,000**
什器備品売却益	**0**	**35,000**	**35,000**
経常外収益計	**0**	**35,000**	**35,000**
(2) 経常外費用	**0**	**0**	
経常外費用計	**0**	**0**	**0**
当期経常外増減額	**0**	**35,000**	**35,000**
他会計振替前当期一般正味財産増減額	**4,641,104**	**△ 5,414,359**	**△ 773,255**
他会計振替額	**△ 5,414,359**	**5,414,359**	**0**
当期一般正味財産増減額	**△ 773,255**	**0**	**△ 773,255**
一般正味財産期首残高	**28,485,163**	**0**	**28,485,163**
一般正味財産期末残高	**27,711,908**	**0**	**27,711,908**
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	**0**	**0**	**0**
指定正味財産期首残高	**0**	**0**	**0**
指定正味財産期末残高	**0**	**0**	**0**
Ⅲ　正味財産期末残高	**27,711,908**	**0**	**27,711,908**

貸　借　対　照　表

令和7年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	金　額	科　　目	金　額
Ⅰ．資産の部		Ⅱ．負債の部	
1．流動資産		1．流動負債	
普通預金	10,906,862	未払金	4,764,169
未収金	900	未払消費税	421,900
		預り金	9,398
流動資産合計	10,907,762	流動負債合計	5,195,467
2．固定資産			
基本財産	20,000,000		
車輌運搬具	2		
器具備品	292,017		
機械装置	1,707,594		
固定資産合計	21,999,613	負債合計	5,195,467
		Ⅲ．正味財産の部	
		正味財産	27,711,908
資産の部合計	32,907,375	負債及び正味財産合計	32,907,375

財　産　目　録

令和7年3月31日現在

（単位：円）

科目		金額		
Ⅰ．資産の部				
1．流動資産				
現金預金				
普通預金	長崎西彼農協　大瀬戸支店	8,713,731		
	十八親和銀行大崎支店	2,193,131		
未収金	3月分アイス売上	900		
流動資産合計			10,907,762	
2．固定資産				
（1）基本財産				
定期預金	長崎西彼農協　大瀬戸支店	20,000,000		
（2）その他の固定資産				
車輌運搬具		2		
器具備品		292,017		
機械装置		1,707,594		
固定資産合計			21,999,613	
資産合計				32,907,375
Ⅱ．負債の部				
1．流動負債				
未払金		4,764,169		
未払消費税		421,900		
預り金	従業員預かり源泉所得税等	9,398		
流動負債合計			5,195,467	
2．固定負債		0		
固定負債合計			0	
負債合計				5,195,467
正味財産				27,711,908

監　査　報　告

令和７年６月４日

一般財団法人西海市農業振興公社

代表理事　高木　禎一朗　様

監事　森　浩三　印

監事　松野栄松　印

私たち監事は、令和６年４月１日から令和７年３月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

１．監査方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況についての報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの付属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

２．監査の結果

（1）　事業報告等の監査結果

一　事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）　計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）　公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上